

令和6年度 事業計画

1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催

1) 関連研究プロジェクト

(細川会長)

○研究タイトル「JAPEW 70周年プロジェクト ～ダンスを通じて境界を越えた創造的な対話を実現する～」

○申請者：(公社) 日本女子体育連盟理事会

○研究背景：2024年にJAPEWは発足70周年を迎える。特に近年は、ダンスについての新しい見方、オンラインと対面を活用してのダンス指導の工夫や事例を収集してきた。本プロジェクトではこれまでの成果を基盤にして、社会状況の変化に対応し、学校体育ではその中で学びに向かう力を高めるような、生涯スポーツにおいては活動継続に資するような考え方や方法をさらに研究し、これらの研究成果を、条件や場面に応じて参考にできるように、また広くアクセスできるような形式で発表することを目的とする。

○研究計画：2022年-2024年の3年計画とする

【1年目(実施済み)】①情報の整理と分析 ②観点の抽出 ③研究の骨子の図式化

【2年目(実施済み)】観点ごとの研究実践

観点①テクノロジーの活用：ICTを活用した表現運動系・ダンス領域の創造的対話的学習モデルの構築を目的とした、学校体育授業を対象としての調査研究及び質的研究

観点②未来へのレガシー：生涯スポーツにおけるダンスの成功モデルと世代を超えた持続可能なダンス文化創出の特徴(条件)を抽出することを目的とした、トップアーティストや高齢者であっても地域のダンス活動を活発に行なっている方々を対象としての調査研究及び質的研究

【3年目(当年度)】観点①②の研究実践を継続するとともに、連盟創立70周年記念第57回全国女子体育研究大会(東京)/JAPEW SUMMER SEMINAR2024等において研究成果を公開する。

2) 加盟団体との共同研究

(細川会長)

(公社) 日本女子体育連盟と加盟団体との共同研究を実施する。

(継続) なし

(新規) メール申請受付、締切は4月30日必着。

3) 全国女子体育研究大会

□実行委員会

公益社団法人日本女子体育連盟創立70周年記念 第57回全国女子体育研究大会(東京)

／JAPEW SUMMER SEMINAR 2024 として、以下の様に開催を計画している。

期 日 2024年8月20日(火)・21日(水)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

主 催 (公社) 日本女子体育連盟

後 援 (予定) スポーツ庁、東京都、(公財) 日本スポーツ協会、(公財) スポーツ安全協会、
(公財) ミズノスポーツ振興財団 (公財) 日本学校体育研究連合会

テーマ 「ダンスが拓く未来」
 内容 シンポジウム、公開演技、講演、講義、実技、実習、演習等
 参加者 幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・短期大学・大学・専門学校・生涯スポーツ等の指導者及び関係者、大学生・大学院生
 定員 260名（生涯スポーツコース：160名 学校体育コース：100名）
 内容 1日目 70周年祭「全員で踊り合おう！（仮）」
 全体会（記念式典、JAPEW 賞表彰、シンポジウム、公開演技）
 2日目 分科会（仮）
 生涯スポーツとしてのダンス
 学校体育におけるダンス
 共生社会におけるダンス
 ※インターナショナル・ダンス・ワークショップ同時開催

参加費 会員 13,200 円、一般 15,400 円、学生 7,700 円（税込）
 ※会員（正会員・特別会員、JAPEW-DMIL 指導員・『女子体育』年間購読者）

プログラム（案）

	9:00	10:00	11:30	12:30	16:30	18:30
8月20日（火）	受付	70周年祭 「全員で踊り合おう！（仮）」 【スポーツ棟第1・2体育室】	昼食・休憩	全体会【大ホール】 ・記念式典 ・JAPEW 賞表彰 ・シンポジウム「ダンスが拓く未来」 ・公開演技	休憩	レセプション

	9:00	9:30	10:50	11:10	12:30	13:40	15:30	15:40	16:10
8月21日（水）	生涯スポーツとしてのダンス		「生涯スポーツとしてのダンス指導の成功モデル」 （講演）	「ダンスムーブメント①」	昼食・休憩	「ダンスムーブメント②」	（報告・ショーイング） 分科会全体会		閉会式【第1・2体育室】
	学校体育におけるダンス		「フォークダンス（民謡）」	「創作ダンス作品の創作および指導法」 —AJDF 受賞校に学ぶ—		「ICTを活用したダンス指導」 —リズム系ダンスと表現系ダンス— （研究発表・WS）			
	共生社会におけるダンス	受付	「幼児の表現」	「高齢者も共に」		「障害の有無を超えて」			
	【同時開催】 インターナショナル・ダンス・ワークショップ		コンテンポラリーダンス 講師 安藤洋子						

2. 女子体育に関する講習会及び育成事業

- 1) サマーセミナー 生涯スポーツ研究／授業・保育研究専門委員会
公益社団法人日本女子体育連盟創立 70 周年記念 第 57 回全国女子体育研究大会（東京）
／JAPEW SUMMER SEMINAR 2024として開催する。

※前項の 1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催 3) 全国女子体育研究大会 参照

2) JAPEW 未来世代の研究発表会

- 第 68 回研究論文発表部門・卒業ダンス作品発表部門 研究交流専門委員会
- 期 日 2025 年 2 月 11 日（火・祝）
- 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 内 容 ①研究論文発表部門：卒業論文・修士論文・博士論文の口頭発表及びポスター発表
*発表論文の中から優秀論文を『女子体育』に掲載
②卒業ダンス作品発表部門：卒業・修了学生によるダンス作品の発表及び招待作品上演
- 参加費 発表者 1,000 円、参観者 500 円（研究抄録集・ダンスプログラム代）

3) JAPEW ダンスムーブメントセミナー

指導員制度専門委員会

第18回JAPEWダンスムーブメントセミナー2024 in 山梨

- 主 催 （公社）日本女子体育連盟 山梨県女子体育連盟
- 期 日 2024年11月23日（土・祝）
- 会 場 山梨県立中央高等学校体育館

4) 「JAPEW ダンスムーブメント指導員（略称 JAPEW-DMIL）」養成事業・資格認定事業

指導員制度専門委員会

①「JAPEWダンスムーブメント指導員」養成講習会

<A級：第19回, B級：第23回, C級：第26回>

- 期 日 2024年8月20日（火）・21日（水）・22日（木）
- 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 主 管 公益社団法人日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
- 内 容 理論、実技 計21時間
- 受講料 16,500円（税込）

※20日・21日は公益社団法人日本女子体育連盟創立 70 周年記念

第 57 回全国女子体育研究大会（東京）／JAPEW SUMMER SEMINAR 2024 受講に代える

②「JAPEWダンスムーブメント指導員」検定講習会

- 期 日 2024年10月4日（金）・5日（土）・6日（日）
- 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 主 管 公益社団法人日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
- 内 容 理論、実技、指導実習 計19時間 ※検定試験
- 受講料 A級／27,500円、B級／27,500円、C級／16,500円（税込）
- 受験料 11,000円（税込）

③「JAPEWダンスムーブメント指導員」クリニック

期 日 2024年8月22日(木)
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 管 公益社団法人日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
 内 容 スキルアップのための実技研修
 受講料 5,500円(税込)

④公認ライセンス資格認定 [A級・B級・C級、及びS級(功労指導員)]

○A級、B級、C級 各資格取得に係る諸費用

費 目	C 級	B 級	A 級	備 考
受講料(養成講習会)	15,000	(同左)	(同左)	(税抜)
(検定講習会)	15,000	25,000	25,000	(税抜)
受験料	10,000	(同左)	(同左)	(税抜)
指導員公認料	10,000	20,000	30,000	(税抜)
連盟登録料	12,000	(同左)	(同左)	2ヶ年分(税込) ※他に『女子体育』購読料 ¥8,000 2ヶ年分(税込)
更新登録料	12,000	(同左)	(同左)	2ヶ年分(税込) ※他に『女子体育』購読料 ¥8,000 2ヶ年分(税込)

○S級(功労指導員)は、A級指導員として一層の功労が認められる者を<功労指導員>として推薦の上、認定する。

※認定を受けるものは、次の費用を納付することとする。

- ・連盟登録料および更新登録料
A・B・C級と同じく12,000円(6,000円×2ヶ年)
- ・公認料は無料
- ・他に『女子体育』購読料 ¥8,000 2ヶ年分(税込)

○2025年度 D級新設に向けて2024年度より準備を進める。

3. 機関誌その他の学術刊行物の発行

1) 『女子体育』編集発行

□『女子体育』編集専門委員会

2021年度のリニューアルについて、方針は受け継ぎつつ更に新しい内容に挑戦する。

① 刊行

通常号は季刊(年間4回)とする。他に、AJDF-Kobe報告特集号を発刊、合計5回とする。

春号:4月8日発刊 夏号:7月8日発刊 秋号:10月8日発刊 冬号:1月8日発刊

AJDF-Kobe報告特集号:11月上旬発刊

② 体裁

B5判。通常号64頁、特集号80頁、横書き。

③ 購読料

年間購読料5,800円、新卒4,000円、学生3,800円、JAPEWダンスムーブメント指導員4,000円

通常号、特集号共に、1冊売りは1,320円(税込)

④ 刊行方針

ダンス指導について先進的に世に提案していく。これまで同様、しっかりと理論に裏打ちされた実践的な内容を掲載し、現場の保育者、教師、生涯スポーツの指導者、体育やダンスを学修する学生の、実践や研究に資する雑誌を目指す。読者に国際的な展望も持っていただくために、毎号に国際交流専門委員会の提案企画を位置づけて行く。連盟のこれからの考えていくために、連盟の歴史をひもとくページを展開する。

⑤ 年間テーマ 「ダンスが拓く未来」

2021～2022 年度の年間テーマは、「今ダンスにできること」は何であるのか、という問いをベースに編集してきた。2023 年度に、それを受けて少し先の未来に向けて視線を伸ばしていくという意味を含め「ダンスが拓く未来」を年間テーマとした。2024 年度は引き続き「ダンスが拓く未来」を掲げ、未だ影響の残るコロナ禍や自然災害が絶えない状況において、来る未来にダンスが持つ力を提案していく紙面としたい。

⑥ 各号テーマ

○春号 新しい出会い

○夏号 風を起こす

○秋号 違いを楽しむ

○冬号 分かち合う幸せ

○特集号 第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)特集

⑦ 表紙

雑誌の顔である表紙は、リニューアルしてからの躍動的なイラスト及び、「Dance Education for All」のロゴが好評であったため、背表紙部分と、号のテーマ部分とロゴに配置する色（2021年度紺色、2022年度黄緑色、2023年度赤色）を年度毎に変えながら継続する。

2) 『学術研究』発行

□学術研究編集委員会

『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』第41巻を刊行する。なお、論文投稿締め切りは8月末日とする。

4. 関係諸団体との連携及び国際的な研究交流の推進

1) 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 36th All Japan Dance Festival-Kobe

□AJDF-Kobe専門委員会

期 日 2024年8月6日(火)・7日(水)・8日(木)・9日(金)

会 場 神戸市／神戸文化ホール・神戸市立中央体育館

主 催 (公社)日本女子体育連盟、神戸市、神戸市教育委員会

主 管 第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)実行委員会

後 援(予定) スポーツ庁、NHK(日本放送協会)、(公財)日本スポーツ協会、
(公財)全国高等学校体育連盟、全国高等学校長協会、兵庫県、

	兵庫県教育委員会、(公財)神戸市スポーツ教育協会、(公財)ミズノスポーツ振興財団
協 賛(予定)	(株)日本旅行神戸支店、ミズノ株式会社
内 容	①開会式 *大会2日目に行う ②創作コンクール部門 (高校/予選・決選、大学/予選・決選) *有料 全席指定 (学割席あり) ③参加発表部門 *有料 全席指定 (学割席あり) ④表彰式・特別プログラム(創作コンクール部門高校・大学受賞作品) *特別プログラムは大ホールにて2回公演を予定 有料 全席指定
表 彰	文部科学大臣賞、NHK賞、日本女子体育連盟会長賞、神戸市長賞(以上、高大各1)、特別賞(高大各4)、奨励賞(高大各1)、審査員賞(高3(予定)、大1)、 準入賞(高4)
その他	参加申込要項等は大会HPに掲載 大会詳細は『女子体育』報告特集号に報告

2) 国際的な研究交流事業

□国際交流専門委員会

① 国外の体育・スポーツ・ダンス推進団体との連携、情報交流

○ 国際女子体育連盟 (IAPESGW) との連携

JAPEW HP「国際情報」より、国際女子体育連盟 (IAPESGW) ニュースレターを始め、CID (International Dance Council 国際ダンス協議会)、IWG (International Working Group on Women and Sports 女性とスポーツの国際ワーキンググループ) を中心とした海外における国際的な女性と体育・スポーツ・ダンス関連の情報配信。

② インターナショナル・ダンス・ワークショップの開催

期 日 2024年8月21日(水) 09:30-12:30

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

講 師 安藤洋子

主 催 (公社)日本女子体育連盟

内 容 国際的な活動経験のあるダンサーを招聘し、その技法や作品創作法についてのワークショップを実施する。実技に加え、海外での就労/留学に関心のある学生に向け、日本人として海外でダンサーとして就労した経験等のトーク時間も設ける。ダンスに対する国際的な視野を学ぶ機会とすると同時に、ワークショップを通して受講生間の交流を深め、ダンスに関する情報交換を行える場を提供することを目的とする。また、今回は、連盟創立70周年記念全国女子体育研究大会(東京) / JAPEW SUMMER SEMINAR2024のプログラムの1つとして実施する。

③ (公社)日本女子体育連盟の活動情報の国外への発信

○ ホームページのイングリッシュガイドの情報を更新。

○ IAPESGWから配信される情報の国内配信、連盟の活動をIAPESGW News Letterへ投稿。

④ 日本国内にある異文化グループや国際交流グループとの連携事業についての検討

○ 学校や地域において、体育・スポーツ・ダンスを通じた異文化交流が推進できる方法を提案できるよう、情報収集をする。

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1) 「JAPEW 賞」顕彰

□JAPEW 賞選考委員会（会長）

①JAPEW 松本千代栄賞

趣旨 長年にわたり我が国における体育・スポーツの普及振興と本連盟の発展に貢献し、生涯にわたる女子体育に関する研究と実践に顕著な功績が認められる女性体育指導者並びに女性研究者に対して、その功績を称え表彰する。本賞は（公社）日本女子体育連盟（以下、本連盟）を長きにわたり牽引された松本千代栄氏の特段な功績を称え、創立 60 周年を期に制定した。

選考 本連盟会長及び顧問により推薦された候補者について、JAPEW 松本千代栄賞選考委員会において審議し選考する。

②JAPEW 功労賞

趣旨 我が国の体育・スポーツの普及・振興にあたり、特に貢献が顕著と認められる女性体育指導者並びに女性研究者に対して、表彰をもってその功労に報いることを目的とする。

選考 本連盟会長及び加盟団体より推薦された候補者について、JAPEW 功労賞選考委員会において審議し選考する。

③JAPEW 指導者賞

趣旨 体育・スポーツの指導を通して功績をあげ、学校体育及び生涯スポーツの振興・普及に貢献した我が国の女性体育指導者を表彰するとともに、優秀な女性体育指導者の育成を図ることを目的とする。

選考 本連盟会長および加盟団体より推薦された候補者に対して、JAPEW 指導者賞選考委員会において審議し選考する。

④JAPEW 研究奨励賞

趣旨 体育・スポーツに関する研究において優れた成果をあげた論文及び著書とその女性研究者（個人またはグループ）を表彰するとともに、優秀な女性研究者の育成を図ることを目的とする。

選考 本連盟理事より推薦された候補論文及び著書とその女性研究者について、JAPEW 研究奨励賞選考委員会において審議し選考する。

※推薦書の提出 JAPEW 各賞候補者の推薦書については、所定の書式に基づき、連盟事務局までメールで送付及び郵送のこと。

2) 表彰および表彰者の公表について

表彰者氏名は、機関誌『女子体育』誌上及びホームページにて公表する。表彰者には、全国大会開会式において、表彰状と副賞を授与し、顕彰する。

6. その他

広報・普及活動

□広報・普及委員会

①各加盟団体とのIT化の推進

事務手続き効率化のため、各加盟団体間でIT化を一層推進する。

②『女子体育』購読促進活動

研修事業での新規（新卒学生含む）及び継続購読者獲得、並びに購読期限切れ購読者への対応を行う（事務局・総務・編集委員会との連携）。

③ホームページの管理及び内容の充実と開示情報の更新

- ・各事業と連携し、情報発信の敏速性とHPの充実をはかる。
- ・サマーセミナーおよび未来世代の研究発表会のエントリーをHP上で行う。
- ・事業報告、事業計画、財務諸表（決算書・予算書等）の情報を公開する。
- ・各都道府県情報のHP化／各都道府県教委等、他団体との相互リンクを充実させる。

④『（公社）日本女子体育連盟 学術研究』の電子化

『（公社）日本女子体育連盟 学術研究』第40巻を電子ジャーナルとしてJ-STAGEに公開する。

⑤ JAPEW事業に関連する動画の制作と公開

- ・ JAPEW総会用の資料として、年間事業を取りまとめた動画の制作と公開を行う。
- ・ その他必要に応じて使用する映像等の制作と公開を行う。

⑥ JAPEWに関連する公式SNSの管理

JAPEWの活動内容を迅速に伝える為のSNS（Facebook等）に関する管理を行う。

⑦ その他

Webやネットワークに関するアンケート等に対応する。